

参加
無料

平成 30 年度 中京区民ふれあい人権映画鑑賞

参加者
募集

(※)

LGBT について ～知る・考える～



中京区民ふれあい事業実行委員会及び中京区役所では、広く区民が、あらゆる差別がない「人権文化の息づく中京のまち」を実現することを目的に、人権イベントを開催します。今年度は、(※)「LGBT」について、映画から学んでいきましょう。理解を深めるために、講演会も同時開催します。是非、御参加ください。

(※)「Lesbian」(レズビアン、女性同性愛者)、「Gay」(ゲイ、男性同性愛者)、「Bisexual」(バイセクシュアル、両性愛者)、「Transgender」(トランスジェンダー、心と身体の性が一致しない人)の頭文字をとり、セクシュアル・マイノリティ(性的少数者)を表す言葉の一つとして使われることがあります。

第1部 講演会「LGBT について～知る・考える～」

講師

山田 創平 氏

社会学者/京都精華大学准教授

名古屋大学大学院修了。博士(文学)。公益財団法人エイズ予防財団リサーチレジデント、独立行政法人国際協力機構アジア地域短期技術協力専門家、厚生労働省エイズ予防戦略研究・研究班員などを経て現職。編著書に『たたかう LGBT&アート』共著書に『ジェンダーと自由』などがある。公益財団法人企業メセナ協議会東日本大震災芸術・文化による復興支援ファンド選考委員。



第2部 映画鑑賞会「ナチュラルウーマン」

(第90回アカデミー賞 外国語映画賞受賞)



「グロリアの青春」のセバスティアン・レリオ監督が、自分らしさを守るため差別や偏見に闘いを挑んだトランスジェンダーの女性を描いた作品。

ウェイトレスをしながらナイトクラブのシンガーとして歌うトランスジェンダーのマリーナは、歳の離れた恋人オランダと暮らしていた。しかし、オランダは自身の誕生日の夜、自宅のベッドで意識が薄れたまま亡くなってしまふ。最愛のオランダの死により思いがけないトラブルに巻き込まれ、容赦ない差別や偏見を受けるマリーナは、女性として生きていく権利を胸に前を向いて歩くことを決意する。主人公のマリーナ役を自身もトランスジェンダーの歌手であるダニエラ・ベガが演じる。

2017年チリ・アメリカ・ドイツ・スペイン合作(上映時間 104分)

日時: 12月15日(土)

13:30~16:30 受付 13:00~

場所: 京都市男女共同参画センター
ウイングス京都 2階イベントホール
中京区東洞院通六角下る御射山町262

対象: 京都市内に在住・在勤・在学の方

定員: 200名 申込先着順

手話通訳: あり ※但し、オープニングから講演会まで
(映画については日本語字幕あり)

申込み

京都いつでもコール

☎ 661-3755

11月15日(木)~12月6日(木)

氏名(ふりがな)、電話番号、郵便番号、住所、
同伴者人数(3名まで)をお伝えください。

※保育(有料)が必要な方は、12月3日(月)までに
まちづくり推進担当へお問い合わせください。



*一般来館用の駐車場
はありません。
地下鉄「四条駅」「烏丸御池駅」、阪急「烏丸駅」
から徒歩5分

主催: 中京区民ふれあい事業実行委員会 共催: こころ・愛・ふれあいネットワーク

問合せ: 中京区役所まちづくり推進担当 TEL: 075-812-2426 京都市印刷物番号 304682



京都市
CITY OF KYOTO

